

みんなの文芸



俳句 うらほろ俳句会

胸はつて受けたし意地の春一番
雪原のカンバス風は天才
花椿散るが如くに友は逝く
凍月下カムイミンタラ鹿遊び
鯨群来泣きたい水底護送船
農魂に春一番が火をつける

川柳 浦幌川柳会

朝日さす霧氷キラキラ一人占め
迂回路に胸の隙間を置いて生き
さりげなく雪の彩変える梢の陽
待つ事が好きで孫待ち曾孫待ち
座りだこ育てて今日も雪もよい

川柳 上浦幌句の会

今年こそ実りの秋を夢に見る
努力する姿を眺める尊さよ
快晴の景色楽しみ散歩する
初春に小鳥の見えぬさみしさね
雪ふかしかわいいた花咲く春思う
節分は過ぎたと言えどまだ寒い
夢希望なくて未来図書けぬまま
恵方巻かじり聞かれぬ鬼は外
招かれて七段かざり赤いべべ
春の空風がさわやか浮き浮きと

短歌 心友愛会

我一人毎日健康祈りつつ
元気をくれる友がたくさん
背中にカイロ体はかたく
ストーブ頼り寒さを凌ぐ
だんだんと心配事が増えて来て
これはだめだと自分にムチを

亡き友の夢ばかり見て目覚めては
我もちかいか三途の川に
今月も寒さに負けず元氣よく
会に行くのを楽しみに待つ

猫のえさ買い求めてか今日もまた
夫と笑顔で寛ぐ夕餉

報道で健康食品数ふえる
残念ながら先立つ物が無い

星仰ぎ五十路六十路や何をした
七十路の今は時雨みに染む

大病を患う日々続き今
我が人生の儚さを知る

編集後記

■表紙の写真は、上浦幌中学校卒業証書授与式後のひとコマです。卒業生のみんな、卒業おめでとうございませう！4月からの新しいステージでも青春を満喫してください！

■小学校、中学校、高校、それぞれの卒業の時にクラスで文集を作っていました。そこで定番なのが「将来○○になっていそうな人ランキング」。「将来有名人になっていそう」や「将来親バカになりそう」といった現実になり得るものばかりの中、私が上位に入ったのは「将来ウルトラマンになれそう」や「将来ガンダムと素手で戦えそう」などの斜め上に行くものばかり。期待していた同級生たちには申し訳ありませんが、残念ながら未だにウルトラマンになれないし、東方不敗にもなれません。(山)

■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。